

## ガイドッドサージェリーと CAD/CAM によるインプラント補綴

松永 興昌

福岡県 松永歯科クリニック 院長

### 講演抄録

現在、インプラント治療に対して高い安全性と安心が強く求められるようになっているが、これは安易に行われていたインプラント手術の失敗やインプラント周囲炎などの予後不良に対する不信感から起こっていると思われる。

インプラント治療の成功を左右するのは、インプラント体埋入位置の綿密な診査と正確な診断である事は周知の事実である。最近では、コンピューターシミュレーションから得られた情報をもとに、コンピューターガイドングテンプレートを用いる事によって理想的な位置にインプラント体を正確に埋入できるようになった。ガイドングテンプレートを用いる事によってインプラント手術を正確に、さらに低侵襲にする事が可能となって、インプラント体の埋入状態によっては即時負荷による早期機能回復を可能にしている。

本講演では、異なるコンピューターガイドングテンプレートを用いたインプラント埋入の後に即時負荷を行った症例を供覧して術式の検証を行うとともに、CAD/CAM にて作成した最終上部構造の予後について報告したい。